

第3回専門部会とその後におけるご意見と対応方法(概要)

資料1

No	頁	指摘事項	対応	本日配布資料該当頁
1	103	「維持」と「確保」という言葉が混在しているため、言葉の意味を整理するべきではないか。	・都市計画運用指針に基づき、人口密度は「維持」、都市機能は「確保」するに修正	103
2	105	水防法の浸水想定区域について、洪水以外の高潮についても検討する必要があるのではないか。 豊川市洪水ハザードマップの高潮についても考慮されているのか。	・豊川市洪水ハザードマップは高潮について、反映されておりませんが、今後ハザードマップに反映をされた時に、189頁「進行管理」②として、見直しを図る	105
3	107	急傾斜地崩壊危険区域はあるのではないのか。市街化区域内にはないということか。	・急傾斜地崩壊危険区域の指定を確認し、修正	107,109
4	107	津波災害特別警戒区域は、「該当区域はありません。」と記載しているが、『津波災害特別警戒区域は、未だ指定されておりませんが、「今後指定の動向に留意する』』といった表現で記載した方がいいのでは。	・今後、指定された時に189頁「進行管理」②として、見直しを図る	107
5	153	届出制度の概要を分りやすく記載した方がいいのでは。	・図のタイトルを修正(「届出が必要な区域」「届出対象行為」「届出が不要な行為の例」) ・図を修正、一部追加(届出が必要な区域) ・184頁の記載についても併せて修正	153
6	153 184	届出制度の周知方法はどのように考えているのか。	・市HPや都市計画課窓口及び開発・建築担当窓口に届出のパンフレットを置き、建築士会や不動産関連団体などにパンフレットの会員への配布等依頼を行う予定。	参-17~ 27、概要版
7	156	第一種低層住居専用地域のうち、建ぺい率30%、容積率50%に指定されている地域(暫定用途)は、専門用語で分かりにくいのではないか。	・用語集にて説明文を掲載	参-10
8	172	「国府地区、一宮地区において大規模店舗が不足している」について、167頁の「施設が持続的に維持されるための人口規模」以下の場合、不足していると判断している理由は。	・充足状況の評価として、167頁の人口規模を基に1施設あたりの圏域人口が「機能維持に必要な人口規模」より多い状況であるため。	172

No	頁	指摘事項	対応	本日配布資料該当頁
9	173	保健センターを充足とする説明が不足しているのではないかな。	・以下の表現に修正 「本市の医療・福祉に関わる対人サービスの拠点となる施設であり、様々な医療・福祉施設の連携の拠点となる施設です。一元的なサービス提供により、市民の健康づくりや各施設の円滑な連携が効果的に行われていることから、現状で充足していることとします。」	173
10	173 ～ 175	充足「しています」「とします」「していると想定されます」「していることとします」といった表現方法がまちまちになっているが。	・以下の表現に修正 利用圏域別の1施設あたりの圏域人口の評価により充足しているものは「充足しています」 関連計画や関連施設の分布状況から充足していると読み取れるもの、考えられるものは、「充足していることとします」	173 ～ 175
11	174	幼稚園・保育園等の記載箇所、「量の見込みを確保する」の意味は。	・ご指摘の表現は、豊川市子ども・子育て支援事業計画における、将来見込まれる入園者数を指します。 「不足する収容定員を確保する」に修正	174
12	179	誘導施設の区分を分りやすく記載したほうが良いのではないかな。	・箇条書きに修正	179
13	184	届出制度の概要・図を分りやすく記載したほうが良いのではないかな。	・153頁のご指摘を踏まえ修正	184
14	185	章のタイトル「誘導区域の施策」は適切かな。	・「9誘導施策」に修正	185
15	186	地域包括ケアシステムの扱いについて再検討が必要なのでは。	・誘導施策からは削除 ・居住や都市機能の誘導を図る一方で、住み慣れた自宅等の生活利便性を確保するための取組みとして、誘導施策の基本的な考え方に記載	185,186
16	187	バリアフリー化は駅だけでなく、周辺も必要なのでは。	・「駅のバリアフリー化や円滑で安全な乗換え空間」を「ユニバーサルデザインに配慮した交通結節点」に修正	187

No	頁	指摘事項	対応	本日配布資料該当頁
17	189	進行管理の具体化が必要なのでは。	・具体的な進め方を追記 【PDCAサイクルの概要】、「●計画の見直し」を追加	189,190
18	190	人口密度の目標値は適切なのか。	・本市の最上位計画である、第6次総合計画での目標値であるので、本計画においても、全市一丸となり目標値に向けて取り組んでまいります。	192,193
19	190	目標年次掲載すべきではないか。	・「目標(H52)」と記載し、目標年度を掲載	191
20	191	人口密度目標の設定根拠が分りにくい。	・参考「豊川市人口ビジョンにおける目標人口の算定について」を追加掲載	192,193
21	192	乗車人員目標の設定根拠が分りにくい。	・「目標値の設定方法」を追加掲載 ・対象となる主要な鉄道駅名を追加掲載	194
22	-	都市計画マスタープラン住民意見交換会・豊川市立地適正化計画説明の広報の掲載について	・広報・HPで意見交換会及び説明会を市民へ周知をさせていただいております。ご意見は参考にさせていただきます。	-